

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月25日

事業所名 ふるさとの森ひろば2

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・パーティション等を利用して可能な限り工夫している	・別室で個人で過ごせるスペースやついたて等を使用して集中できるスペースの確保に努めている
	2 職員の配置数は適切である		○	・必要時(長期休暇等)には求人募集をしている ・利用児の迎え、個別対応などで人数が必要な時に法人の職員に手伝いをもらうようにしている。	・充実した支援が送れるように年間を通して職員募集を続けていきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・トイレまでのスペースに物を置かないようにしている	・道具の整理整頓を行い、どのような状況でも動きやすい環境にしていきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・必要に応じてミーティングの中でどのような接し方をすべきかを話し合うようにしている。	・話し合う時間を計画的に設定するようにしていきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・アンケートで貴重なご意見をいただいたので数字の低い項目に関してしっかりと改善方法を考えるようにしていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年2月末にホームページに掲載している。	・余裕を持って集計できるように早めにアンケートを配布するようにしていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者評価を実施していないため、法人内の職員の気づきを大切にるようにしていきたい
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	・他事業所の見学を通して、どのような取り組みをしているの学びたいと思っている。	・オンラインの研修に参加して知識を深めたい。 ・コロナが落ち着いたら積極的にしていきたい。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者、相談員から得た情報をもとに計画を作成している	・計画に得た情報をさらに反映できるようにしていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・MAS行動分析ツールを使用して、行動の原因を調べ、ストラレージシートで支援方法を示した。	・全職員が各ツールについてさらに理解を深め、有効に活動できるようにしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・個人が作成した当日の活動計画をミーティングの中で全員で確認して意見を出し合うようにしている。	・計画の確認に加えて、終了した活動の反省もミーティングの中で定期的実施していくようにしていきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・同じ活動名でも内容のステップアップなどを行っている	・月に1~2つの割合で新たな活動を組み込んでいくようにしていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・IQパズルの入れ替え、本の入れ替え自由遊びなど新鮮味を持てるようにするための工夫 ・長期休暇中は集中が持続しやすいように20分前後の活動を組み合わせて過ごすようにしている	・長期休暇が終了するごとに次回の長期休暇はどのようにするべきかを決めるようにしていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・それぞれの活動時間の割合が適しているかを定期的に検証するようにしていきたい。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○		・受け入れ前にミーティングを行い、当日の流れや内容、職員の動きについて確認を行うようにしている	・現在の流れを継続していきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・送り業務終了後に当日の反省や保護者からの連絡を責任者に報告するようにしている	・報告はしっかりとした様式に記録していくようにしていきたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・利用児の当日の様子について記録を取るようにしている	・伝わりやすい記録の取り方を追求していきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・必要な時には支援方法について見直しを行っている。	・今後は定期的実施するようにしていきたい。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		・ガイドラインを意識した支援を行うようにしているが、まだまだ足りない部分も多く、今後、充実させていきたい。	・全職員がガイドラインの内容をしっかりと把握するようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・日程を調整して必ず児童発達管理責任者が参加するようにしている。	・現在の流れを継続していきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・下校時間の確認は行っている。学校に迎えに行った際にお互いに余裕があれば利用児の状況を伝えるようにはしているが、充分とは言えない。	・学校に対して積極的に連携を取る機会を作るようにしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・現在、該当する利用児がいないため、今後、検討が必要である ・受け入れを行っていない	・必要な場合は職員(看護師)の配置を検討したい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		利用を始める際に保育園の先生に来所していただいて、説明を受けることもある。	・利用開始後にもわからないことに関して説明をする機会を作るようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・まだ障害福祉サービスへ移行する利用児がいない。該当利用児が出てくるまでに準備を進めていきたい。	・他事業所がどのようにしているか情報を集める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		センターを受診した利用児についての情報交換を通して支援の方向性について助言をいただいている。	・助言をいただいて取り組んだことに対して検証を行うようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・現在、コロナ感染対策のため、交流を控えている ・コロナの影響で難しさがある	・地域の学童や少年団に対して積極的に交流を求めていくようにしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・今年度は2回出席した。日程を調整して参加するようにしている。	・現在の流れを継続していきたい。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・ミーティング時に加え、活動準備や資料作成の時間などでも気付いたことについてその場で職員間で話をするようにしている。	・現在の流れを継続していきたい。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・今後、必要に応じて実施していくようにしていきたい	・全職員でペアレントトレーニングについての研修を実施したい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約の際に資料を掲示して説明を行っている	・利用開始後にもわからないことに関して説明をする機会を作るようにしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・自分たちもまだまだ未熟なので、保護者の気持ちに寄り添って、一緒に考えるようにしていきたいと思っている	・相談しやすい関係作りを日ごろから意識するようにしていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・現在、コロナ感染予防のため、実施できていない	・行事などに参加した際に連携をとれるように時間の設定を行いたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・ご意見をいただいた際には事業所側からすぐに連絡をして、内容を確かめたうえで対応策を検討するようにしている。	・現在の流れを継続していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月に1回、プリントを配布している。	・プリントの内容を充実させていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○		・特に気を付けるようにしている。	・定期的に自己チェックをするようにしていきたい。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	・言葉だけではなく、視覚的な支援を意識して準備するようにしている。	・効果的な支援方法についての情報を集め、実践していくようにしていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	・現在、コロナ感染予防のため、実施できていない	・行事への参加で地域に情報発信していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・マニュアルがあるものの、十分に周知できていなかった。	・マニュアルを配布することで安心を提供できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・年に5回の避難訓練を実施している。	・予期せぬ事態を想定した訓練も実施していくようにしたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・定期的な研修が実施できていなかった。早めに準備をしていきたい。	・定期的に自己チェックをするようにしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・今後、実施予定	・年度初めにお伝えできるように準備を進めていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・現在は在籍していない	・名簿の作成等を行い、全職員で配慮事項について共通理解をするようにしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・事例が生じた際はヒヤリハット報告を作成し、安全管理委員会で対策を考えるようにしている。	・ヒヤリハットを事故につなげないための取り組みをさらに深めていきたい。